

防災(2)

ネオシティ大和高田自主防災組織(大和高田市)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	473世帯
◇人口	約2,000人
◇内65歳以上人口(高齢化率)	約200人 (10 %)
地域の特徴	
◇まちの特徴	マンション
◇過去の災害、想定される災害	過去の災害(台風による被災)、想定される災害(地震・水害)
◇犯罪発生状況、想定される犯罪	犯罪発生状況(車上荒らし)、想定される犯罪(特になし)
設立年月日	平成11年4月
設立のきっかけ	阪神大震災
目的・キャッチフレーズ	マンション生活の安心のために
予算規模	約26万円
主な活動内容	
◇防災・防犯など一体的な活動	
◇防災活動	防災訓練・普通救命講習会・夜警(月2回)・特別夜警〔年4回〕
◇防犯活動	
◇その他の活動	自治会活動への協力
主な連携先	自治会、管理人室、管理組合、小・中各PTA,老人会等

ネオシティ大和高田自主防災組織（大和高田市）

- 平成6・7年に建てられた5階建て3棟、約500世帯、約2,000人（高齢化率10%）からなる集合マンション。
- 住民の多くは30～50歳台が多く、大阪への勤務者が多い。
- 平成10年に居住者の承認を得て自治会、管理組合を中心に平成11年に自主防災組織を結成。
- 全国でも数少ないマンションにおける自主防災活動の先進事例。
全国でも屈指の兵庫県加古川市にある加古川グリーンシティ自主防災会とも連携。



ネオシティ大和高田自主防災組織の特徴

- 自主防災組織を中心に自治会、管理組合、小・中各PTA、老人会と共に防災意識の向上を図るため防災訓練、普通救命講習会、安全確認を兼ねた図上訓練、防災・ハザードマップの作成実施



ネオシティ大和高田自主防災組織の活動指導案

- (1) 防災意識アンケートを実施する
- (2) 「防災マニュアル」と「マンション便利帳」を作成し住民に配付する
- (3) 防災備品を整備する
- (4) マンションにおける体験型防災訓練を実施する
- (5) 自主防災組織における検討委員会を設置する

ネオシティ大和高田自主防災組織

◇タイトル

活動指導案(1)

防災意識アンケートを実施する

◇活動の概要

- ①住民に対して、アンケートを実施し防災に対する意識度を知る
- ②また、一読するだけで防災知識を身につけることができる内容とする

◇目標・ねらい

- ①防災に対する意識度を知る
- ②防災意識の啓発・防災の問題を身近に捉えてもらう



「防災意識アンケートを実施する」

■特徴1-①

The survey form includes questions such as 'あなたは防災意識がどのくらいありますか？' and 'あなたは防災意識を高めるために何をしていますか？'. It also features a section for '非常時出発の準備は？' with a checklist for items like fire extinguishers, first aid kits, and emergency supplies.

「防災意識アンケートを実施する」

■特徴1-②

① 自治体職員、市民団体、企業等による防災啓発活動の成果をアンケートで評価し、今後の活動に活用する。

② 自治体職員、市民団体、企業等による防災啓発活動の成果をアンケートで評価し、今後の活動に活用する。

③ 自治体職員、市民団体、企業等による防災啓発活動の成果をアンケートで評価し、今後の活動に活用する。

アンケート回答用紙

見てはる事項にチェックして回答しなさい

① 自治体職員、市民団体、企業等による防災啓発活動の成果をアンケートで評価し、今後の活動に活用する。

② 自治体職員、市民団体、企業等による防災啓発活動の成果をアンケートで評価し、今後の活動に活用する。


③ 自治体職員、市民団体、企業等による防災啓発活動の成果をアンケートで評価し、今後の活動に活用する。

「防災意識アンケートを実施する」

■流れ 1

- 自主防災組織の中でマンションを取り巻く状況を把握する

- ① 地元市町村の防災計画の内容を把握する
- ② 管理組合防災計画書の内容を把握する
- ③ マンションの構造問題(ライフラインなど)を把握する
- ④ 被災地での教訓(トイレの問題など)を参考に(アンケート(6)を参照)




「防災意識アンケートを実施する」

■流れ 2

自主防災組織として住民にアピールしたい内容を検討する

- ① マンションをとりまく状況をアピールする
- ② 自主防災組織が活動していることのアピールの機会にもなる
- ③ アンケートで防災訓練を実施していることをアピールする(アンケート(8)を参照)
- ④ アンケートで普通救命講習を実施していることをアピールする(アンケート(10)を参照)
- ⑤ アンケートで要援護者登録のきっかけをつくる(アンケート(9)を参照)



「防災意識アンケートを実施する」

■流れ 3

アンケートを作成する

- ① アンケートは白黒、高齢者にも読みやすいようにA3で3枚。回答はA4で1枚
- ② 押しつけのアンケートにせず回答しなくても読むだけで、マンション地域の現状を把握できる紙面を心がける
- ③ 防災意識の低い人にも読んでもらえ、防災意識が芽生え、興味付けできるように工夫する
- ④ クイズ感覚で設問に答えられるように、イラスト・豆知識を多用する
- ⑤ 設問すべてを終えた段階で、危機意識をもつようにできる内容にする

「防災意識アンケートを実施する」

■流れ 4


アンケート実施時期を検討し、アンケートを配付する

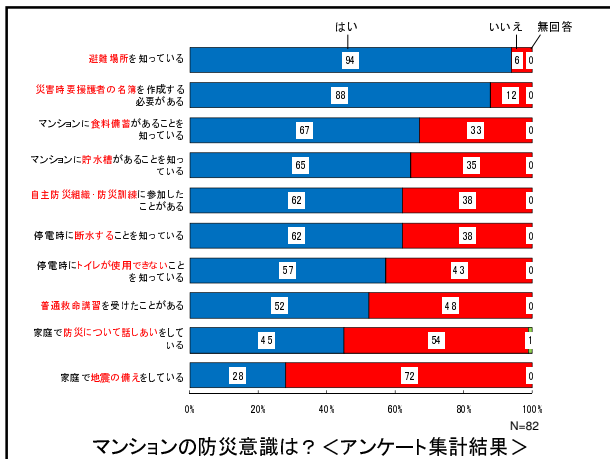
- ① 啓発の効果を上げるために、イベントとのタイアップを検討する(例えば、防災訓練、普通救命講習会、行政の防災啓発週間等)
- ② 年1回の防災訓練の開催時期にあわせて実施する
- ③ 班長さんが各戸の玄関ポストに配付する「広報誌」と一緒に全戸配付する
- ④ 広報誌は各戸で読まれており、また集合ポストに配付すると備え付けのゴミ箱に捨てられるので玄関ポストに全戸配付する

「防災意識アンケートを実施する」

留意事項

- ① アンケートを作るための材料(市町村の防災計画書、管理組合防災計画書、マンションのライフライン説明書等)
- ② 作成に要した時間 会議2H×5(本当はもっとかかっている。各人の宿題やマンション全体の話し合いも含む)
- ③ 実施期間 防災訓練開催日ははさんだ2週間程度
- ④ 回答時間 5分~20分くらい
- ⑤ 結果をまとめて広報を作成する時間 4~5時間程度





まとめ

・アンケート結果から

- ① 問題意識を持っている方が参加協力されている
 - ② マンション住民として協調性の希薄な方の提出が少ない
 - ③ 行事における参加率が回収率の低さに現れている
- ・参加されている方をいかに継続してひきつけていくかが課題
 - ・マンション事情として、近所付き合いが苦手な方、嫌な方がマンションを購入されて住まれている場合が多く、その対策を考えた啓発活動を地道に取り組んでいく必要がある

この事業に参加して、学んだ知識を今後の活動展開に結び付けていきたいと思っております